コメ出荷 全県可能

放射性物質本調査終了

知事が安全宣言

全検体 基準値内 8割 未検出

県は十二日、東京電力福島第一原発事故を受けて実施したコメの本調査を終了し、全検体の放射性セシウムが食品衛生法の暫定基準値（一キログラム当たり五〇〇ベクレル）を下回ったと発表した。今年、作付けされた四十八市町村全域のコメの出荷が可能となり、佐藤雄平知事が安全宣言した。首都圏などへの売り込みを強化する方針。一方、予備調査で暫定基準値と同値だった二本松市旧小浜町の一検体は本調査でも基準値に近い値が出たため、県は研究用に調査した水田のコメを買い上げる。

22、23面に「断面」

今年産のコメの本調査結果は【表】の通り。千百七十四検体のうち、九百六十四検体（82・1％）で放射性セシウムは検出されなかった。二百三検体（17・3％）が一〇〇ベクレル未満、六検体（0・5％）が一〇〇ベクレル以上二〇〇ベクレル未満だった。

九月に実施した予備調査で五〇〇ベクレルを検出した旧小浜町の一検体は四七〇ベクレルで、本調査では暫定基準値を下回った。

県内の今年産一般米の本調査結果

放射性セシウムの濃度	点数	割合（％）
検出限界値以下	964	82.1
100ベクレル未満	203	17.3
100ベクレル以上200ベクレル未満	6	0.5
200ベクレル以上	1	0.1
合計	1,174	100.0

本県のコメ調査の流れ

解説 コメの暫定基準値　原発事故を受け、国は食品衛生法上の放射性セシウムの暫定基準値を玄米1キロ当たり500ベクレルと設定した。農林水産省は収穫段階のコメについて、予備調査と本調査の2段階でチェックを実施。基準値を超えた場合は出荷停止とし、市場に流通させない措置をとった。また、基準値を超える可能性があるとされた本県の一部地域の水田では、あらかじめ作付け制限が実施された。

この結果を受け、佐藤知事は十二日、県庁で「コメの安全性が確認され安堵（あんど）している。トップセールスにより安全性、おいしさを強調したい」と述べた。県は今年産米の流通、販売が本格化する十一月を重点PR期間と位置付け、県内外で二十回以上、販売促進活動を展開する。佐藤知事が首都圏の各種組合会議で県産米を売り込むほか、JA福島五連と連携し試食・即売のイベントを開く。県職員による卸・小売業者への訪問活動も強化し、販路確保を目指す。

作付けされた県内全域のコメが出荷可能となったことを受け、JA福島五連の庄條雄一会長は「消費者に安心して県産米を購入してほしい。出荷委託を受けたコメの全量販売のため全力を挙げる」とコメントした。

旧小浜 470ベクレル検出 9アール分 県が買い上げ

本調査で放射性セシウムが一キロ当たり四七〇ベクレル検出された旧小浜町の検体は、予備調査で五〇〇ベクレルが検出された検体と隣り合う水田で収穫された。

県は、この水田と、同様の条件で栽培された隣接する水田計九アールのコメ約四百キロを買い上げる。種もみの栽培実験で放射性セシウムがイネにどの程度残留するか調べるほか、家畜の餌に使用した場合の安全性を確認する。

たばこ税、除外検討

政府・与党 穴埋めに所得税案浮上

増税

・与党は十二日本大震災の復旧・復興の臨時増税で、現行案から酒を除外する方針に入った。自民、公明両党の強い反対に配慮するためで、与野党協議での妥協点を模索する。穴埋めとして所得税の増税期間を十年から三、四年程度延長する案などが浮上している。

政府は所得税額を十年間4％、法人税額（実効税率5％引き下げ後）を三年間10％、たばこ税を十年間一本当たり二円（うち地方税は五年）、それぞれ増税する方針を定めた復興財源確保法案（仮称）骨子を閣議決定済み。二〇一一年度第三次補正予算案と併せ、次期臨時国会に提出予定だ。

ただ、たばこ税については、支持基盤である葉タバコ農家を重視した自民党の反発が強く、野田毅税制調査会長は「絶対駄目だ」と強硬姿勢を示す。公明党も慎重な構えで、政

福島民報
2011（平成23）年
10月13日
木曜日
発行所
福島民報社
福島市太田町13－17
（郵便番号960-8602）
電話代表　（024）　521－4311
編集局031－4139　広告局031－4153
本事局031－4173　販売局031－4178
購読のお申し込み
0120-373437
© 福島民報社 2011

磐梯山の酒
會津ほまれ
ほまれ酒造株式会社
喜多方市松山町村松字笈掛2706
電話（0241）22-5151

福島民報ホームページ
http://www.minpo.jp/
読者センター 0120-803344